

# 子どもたちの育ちや学びを地域で見守る「しらかベネット」

【柳井市 柳井中学校区】

## 地域の概要

柳井市は、山口県の南東部に位置し、瀬戸内海型気候区に属し、冬も温暖で比較的雨の少ない過ごしやすい気候です。また、日本最大級の銅鏡が出土した茶臼山古墳など多くの遺跡や史跡があり、海と深いかかわりを持ちながら多彩で豊かな歴史をつむいできました。

江戸時代に商人のまちとしてにぎわいを見せた静かなたたずまいの「しらかべの町並」は、本中学校区内にあり、柳井市のシンボルとなっています。

平成17年度に柳井中学校・日積中学校・伊陸中学校を統合し、新しい「柳井中学校」として生まれ変わりました。同時に、文部科学省「地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業」「小中連携推進事業」の研究指定を受け、学校と地域の連携や学校間の連携を進める中で、子どもの安全を見守る取組を行ってきました。

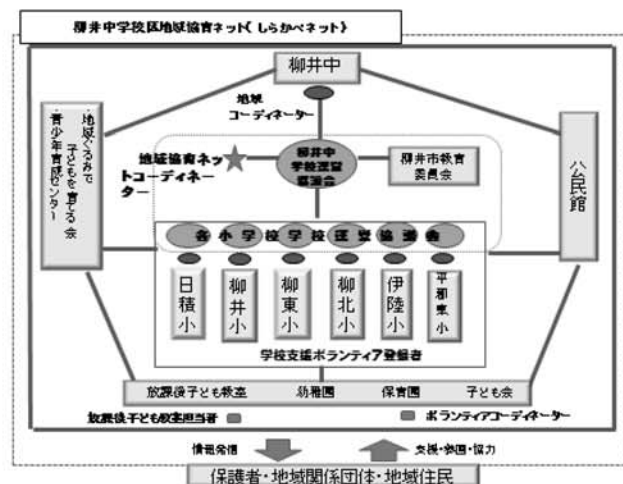
人口	34,760人	
世帯数	16,078世帯	
対象校及び 児童生徒数	柳井中学校	579人
	柳井小学校	540人
	柳東小学校	264人
	柳北小学校	111人
	伊陸小学校	71人
	日積小学校	48人
	平郡東小学校	1人

(2012年11月末現在)

## 組織の内容

柳井中学校区では、「子どもたちの15年間の育ちや学びを地域ぐるみで支える」ことを目的とし、小学校6校を含めた計7校と地域の関係団体等で作った地域協育ネット「しらかベネット」を平成24年度に立ち上げました。また、この仕組みを円滑に推進していくために、柳井中学校学校運営協議会のメンバーを中心に、中学校長、各小学校長、各学校運営協議会長、市教委担当、地域協育ネットコーディネーター、しらかベネット事務局のメンバーで、新たに“しらかベネット推進委員会”を組織しました。それによって、具体的な活動を進めることができ、これまで以上に学校と地域の連携を深め、子どもたちを大切に育てていけるようになりました。

各校においては、現在実施している学校支援ボランティアをはじめとした地域の方々との活動を通して、充実した教育活動を行っていきたくと考えています。そこで、「しらかベネット」の目的が達成できるように、広報紙「しらかベネット通信」の発行により周知を図るとともに、豊かな心を育む活動や多彩な行事を展開し、学校と地域の絆を深めるよう努めています。現段階での構想を分かりやすく図に表したのが右上の図です。また、「しらかベネット」のマスコットキャラクターを柳井中学校区の7校から募集し、応募作品の中からこの「くるりんぎょ」が採用されました。



「くるりんぎょ」